

同和問題を正しく学び偏見や差別をなくそう！
被差別・加差別の立場から同和問題に向き合う

わたしと人権同和問題

わたしです 差別するのもなくすのも『本当のことがわからないと 本当でないことを本当にする』偏見や差別が生まれる原因です。現在の部落差別は、ネット上での部落差別の深刻化があります。内田龍史先生は、「正しい知識を学ぶこと、伝えること」「多数派の人々にとって少数派への差別は、見ようとしなければ見えない、関心を持たないと見えてこない」と、関心や問題意識を持つことの大切さを訴えておられます。本講演会では、前半、内田龍史先生に現代の同和問題の状況について講演していただき、後半、若い世代が中心となって活動している BURAKU HERITAGE のメンバーから上川多実さんに登壇していただきトークセッションを行います。人権同和問題を被差別・加差別の立場から考え、向きあい参加者との意見交換も交えながら、人権同和問題を「わたしの問題」として捉え、理解を深める機会として、多数の皆様のご参加をお待ちしています。（同和問題＝部落問題とも称す。）

*** プログラム 講演会&トークセッション 13:30~15:00 定員 100名**

1・現代の部落差別～部落差別解消への展望

講師：内田龍史さん（関西大学社会学部教授）



《プロフィール》
内田龍史（うちだ・りゅうし）さん
大阪市立大学大学院文学研究科修了。
博士（文学）。尚絅学院大学講師・准教授・教授を経て、現在、関西大学社会学部教授。
専門は、差別と共生の社会学。現代の部落問題を中心に、マイノリティであるがゆえにマジョリティから見過ごされがちな差別・排除などの社会問題について研究している。

2・トークセッション～部落問題と向きあう若者たち

上川多実さん（BURAKU HERITAGEメンバー）

《プロフィール》 上川多実（かみかわ・たみ）さん
BURAKU HERITAGEメンバー
1980年東京生まれ。関西の被差別部落出身の両親のもと、東京で育つ。
2011年に友人らと「わたし」から始まる「部落」の情報発信サイトBURAKU HERITAGEを立ち上げる。サイト運営のほか、イベント、講演、ワークショップなどで活動中。

日時 10月20日（火）13:30~15:00

会場 クリスタルアーチョ大ホール